学　校　通　信

小竹だより

練馬区立小竹小学校　　校長　佐藤　正文

令和５年１月号
No.　５９８

2023 卯年 “希望” ホップ ステップ ジャンプ

校長　　佐藤　正文

【練馬区小中連合書きぞめ展（令和元年度：練馬区立美術館）】

■皆様におかれましては、初春を迎えましたことをお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■練馬区報１月号の前川区長様の巻頭言では「新しい年は、練馬区にとって希望に満ちた年としたい。」と述べ、「希望」という言葉にある思いを、魯迅（ろじん）の短編「故郷」の一節をもって紹介しています。「希望とは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなればそれが道になるのだ。」と。そして、区長様は、いくつもの新しい大プロジェクトをスタートさせ、区民のみなさんと共に「新しい希望の道を架けよう。」と決意されています。

小竹小の子供たちも、教職員も、一人一人の希望を胸に、自ら創造し、力を合わせ、いつくもの道を実現させていきます。

年末１２月に子供たちから募集した「あいうえお作文」には、素敵な作品がたくさん届きました。今年のうさぎ年にふさわしい希望に満ちた児童の作品を紹介します。題は「子供」です。

こ…　小竹の子は　優しいな
ど…　どんな時でも「こんにちは」
　「さようなら」「おはようございます」
も…　もっと優しい　小竹小を　つくるぞ！

【３年生児童の作品】

小竹小は、この児童の作品の言葉にあるように「あいさつ」を通して「もっと優しい小竹小をつくる！」ことを目指しています。自ら行動しようとする気持ちが、この「あいうえお作文」には表れています。「あいさつ」の輪広がれ！っという希望にあふれ、本校の教育目標「共に生きる子ども」にある、人とのかかわり方につながります。区長様が紹介された言葉「歩く人が多くなればそれが道になる。」ことと同じだと感じました。

今までの自分の殻から跳び出せるうさぎ年。人とのかかわりは生涯にわたります。あせらずに“ホップ　ステップ　ジャンプ”です。

■今年最初の私の「あいうえお作文」のテーマは「干支」。題は「うさぎ」です。

う…　嬉しかったよ　ありがとう
さ…　さりげない優しさを　ありがとう
ぎ…　ギブ＆テイク　ありがとう

■現在も新型コロナウイルス感染症は収束していません。学校では、子供たちの安心・安全、健やかな健康を第一に、引き続き感染症予防を行って参ります。

■保護者の皆様、地域の皆様、昨年同様、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

～１月の感染症予防対策について～

今日から３学期が始まりました。１～２月は寒さが一段と厳しくなる時季です。

寒い中ではありますが、インフルエンザが流行する季節でもあります。また、今回の新型コロナウイルス感染症も新たに感染する人が増えています。

そこで、学校としては教室内の暖房と換気の両方のバランスを取りながら教育活動を進めて参ります。各教室の配置やお子さんが座っている場所によって、体感温度が違ってきます。教員は子供たちの様子を見ながら暖房・換気を行っていきますが、体温調節できる薄手の上着等をご家庭で用意してくださると、大変ありがたいです。毎日持ち帰らなくても済むことと、お子さんの管理のしやすさを考えると、体育袋に入れておくのも一案です。体育袋にトレーナー等厚手のものを入れている場合は、それ以上入らないかとも思います。

各ご家庭で、室内の防寒対策（何を身に付けるか、どこに保管するか）を話し合ってみてください。ご協力よろしくお願いします。

※練馬区立学校感染予防のガイドライン最新版は現時点で出ておりません。最新版が出ましたら、最新版ガイドラインに沿った本校での取組内容についてお知らせして参ります。